

「PF ニュース」からのお知らせ

平成 24 年度からの PF-UA の発足に伴い、PF ニュースはウェブが主体となりましたが、引き続きご愛読を賜り感謝致します。今後も新しい企画記事の連載など誌面の充実につとめ、PF ニュースをより魅力あるものにしていきます。PF ニュースウェブページには、冊子版では白黒となっている図等もオリジナルのカラーのものを掲載しています。ウェブ版もお楽しみ頂ければと思います。

ウェブ掲載時にはメールでお知らせするシステムも運用しています。希望される方は、どうぞご登録下さい。PF ニュースウェブページにフォームを掲載しています（※ KEK の共同利用者支援システムでユーザー登録をされた皆様には、PF メルマガが配信され、そちらにも PF News 発行のお知らせが載りますので、その方はお知らせメールの登録は必要ありません）。

PF ニュース編集委員一同

投稿のお願い

【最近の研究から】

PF で行われた実験、研究の成果をお寄せ下さい。

【建設・改造ビームラインを使って】

特にビームラインの改良点、他のビームラインとの比較、要望等を是非お聞かせ下さい。

【ユーザーとスタッフの広場】

PF での実験の成果等が認められ受賞された方、海外放射光施設に滞在、訪問された方、国際会議等に参加された方、修士論文等、どうぞご投稿下さい。また PF に対するご意見等がありましたら是非ご投書下さい。

詳細は事務局または PF ニュース HP をご覧下さい。

宛 先

〒 305-0801 茨城県つくば市大穂 1-1
高エネルギー加速器研究機構
物質構造科学研究所 放射光科学研究施設内
PF ニュース編集委員会事務局
TEL : 029-864-5196 FAX : 029-864-3202
E-mail : pf-news@pfqst.kek.jp
URL : <http://pfwww.kek.jp/publications/pfnews/>

編集後記

ハイインパクトな雑誌に論文を発表しなさい、数多く論文を発表しなさい、たくさん研究費を獲得しなさい、メディアでも取り上げられるような注目される研究をしなさい、等々。時代や社会からの要請に応じて、多くの研究機関ではこれらに類することが強く推奨されています。一見すればそのどれもが間違っていないように見えるため、多くの研究者もこれらの推奨事項に合わせて研究を進めているように見えます。しかしこれらは研究の目的やゴールなどではなく、付随的なものと捉えるべきです。研究の目的やゴールをできるだけ簡単に表現するのであれば「世の役に立つように良い研究をし、発表すること」でしょうか。良い研究・成果であったとしてもハイインパクトな雑誌で取り上げられないかもしれないし、論文一報だとしても価値あるものかもしれないし、少額の研究費により実施された素晴らしい研究かもしれないし、また一見地味に見える研究かもしれません。結果的に推奨事項のようになれば良いと思いますが、やはり純粋に「良い研究」実施に向かっていくことがまず重要であり、これは真の意味での人類社会の持続的発展につながっていくと思います。PF にはそのような研究の推進役であり続けてほしいと思います。(A.N.)

平成 27 年度 PF ニュース編集委員

委員長	吉田 鉄平	京都大学大学院人間・環境学研究科		
副委員長	佐賀山 基	物質構造科学研究所		
委員	足立 純一	物質構造科学研究所	安達 成彦	物質構造科学研究所
	伊藤 孝憲	AGC セイメキミカル株式会社	宇佐美徳子	物質構造科学研究所
	大村 彩子	新潟大学研究推進機構超域学術院	柏原 輝彦	海洋研究開発機構
	片山 真祥	立命館大学 生命科学部	土屋 公央	加速器研究施設
	丹羽 尉博	物質構造科学研究所	野呂 篤史	名古屋大学大学院工学研究科
	原 幸大	静岡県立大学薬学部	兵藤 一行	物質構造科学研究所
	間瀬 一彦	物質構造科学研究所	満汐 孝治	東京理科大学理学部第二部
事務局	高橋 良美	物質構造科学研究所		